



向陵広場

発行号 第125号

発行日 令和5年10月30日(月)

発行元 向陵編集校友会

責任者 伊藤有司 (県商10回卒)

杭州アジアパラリンピック大会

卓球シングルス

10月25日

「金メダル」

八木 克勝

県商 58 回卒 (平成 21 年 3 月)



八木選手が金 卓球男子

杭州アジアパラ大会

【杭州共同】杭州アジアパラ大会第4日は25日、卓球シングルスで女子(知的障害)の和田なつき選手(エレファントITC)と男子立位7の八木克勝選手

(琉球、愛知県豊橋市)が金メダルに輝き、来年のパリ・パラリンピック出場権を獲得した。

競泳100メートル平泳ぎ(知的障害)は男子の山口尚秀選手(四国ガス)、女子の芹沢美希香選手(宮前ドルフィン)が制した。自転車

の男子3000メートル個人追いの抜きは運動機能障害C2の川本翔大選手(大和産業、愛知県碧南市)と、同C3の藤田征樹選手(藤建設)が優勝。

車いすテニスのシングルスでは男子の小田凱人選手(東海理化、愛知県一宮市)が4強入り。女子の上地結衣選手(二井住友銀行)は決勝に進んだ。

勇気出し 一歩前へ

豊橋市在住

卓球男子シングルス立位7で金メダルに輝いた八木克勝選手(33)。昨年春から卓球の国内リーグ「Tリーグ」のチームにパラ卓球選手として



卓球男子シングルス(立位7) 決勝で中国選手を破り、喜ぶ八木克勝選手。25日、中国・杭州で(黒田淳一撮影)

軽快フットワークでミス誘う

初めて加盟し、腕を磨きながらパラスポーツのPRにも力を入れてきた。「率直にうれしい。出来過ぎなので怖いくらい」と喜んだ。

生まれつき肘から先が短い障害があるが、軽快なフットワークが武器。決勝では中国の選手と対戦し、最後に相手のミスショットを誘って勝利を決めると、ガッツポーズを繰り返して喜びを爆発させた。

2021年の東京パラリンピックに出場したが、無観客開催ということもあり、期待したほどにはパラスポーツの盛り上がりは感じられなかった。沖縄のTリーグチームに所属し、イベントなどを通じてパラ卓球の魅力を伝える活動を続けている。

今回の優勝で、来年夏のパリ・パラリンピックの出場権を得た。「手が短い分、勇気を出して一歩前に出てプレーしている。勝ち負けも大事だけれど、見た人を後押しできるようなプレーがしたい」と意気込む。

(杭州・芝野享平)